



七五三パーティー

3歳5歳7歳は、子どもの成長の節目といわれますが、そのときを健やかに過ごせたことを喜び、お祝いをする行事が「七五三」です。地域によって多少異なりますが、男子は3歳と5歳、女子は3歳と7歳にお宮参りをします。また千歳飴は、江戸時代に江戸の浅草の飴屋が考案し、長生きするようにという意味で細長くつくられたものです。

園では、“たくさんの人に見守られて大きくなったことへの感謝の思い”と、“みんながいつまでも元気で幸せに”という願いをこめてお祝いします。



建替えの為の地盤調査をしています

園庭に大きな機械が入り、地盤の調査をしています。現在4か所終わりましたが、今後、もう2か所調査をしなくてはならないようです。子どもたちの安全に十分配慮しながら進めていきます。

また、すいこうから真亀までの直通バスの利用についてのアンケートにご協力いただきまして、ありがとうございます。詳細が決まりましたら、またご意向をお伺いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



令和2年

11月の園だより



すいこう認定こども園

コロナ禍での楽しい保育のすすめ

朝夕は肌寒いのですが、日中は、気温も上がり、汗ばむこともあります。体調管理が難しく、発熱するお子さんも見られ、新型コロナウイルスだけではなく、インフルエンザの感染も心配な時期になりました。インフルエンザの感染予防もコロナウイルスの感染予防と同様の効果があるようなので、引き続き、手洗い、うがいなどを励行し、マスクの着用にも心掛けましょう。

10月は、運動会、親子遠足と密になる場面が多い行事ですが、みなさんのご理解とご協力のおかげで、楽しく終えることができ、嬉しく思います。園開放などで園に来られた方に「すいこうは、プールもやったし、運動会もする。自分の子どもが通っている園は、何も無い。すいこうだけどうしてできるのか」と聞かれたことがありました。行事を含め、日常の保育を行うにあたっては、何度もお伝えしておりますように、「すいこうには、職員はもちろん、園児、保護者の中に、コロナに感染した人はいない」ということを前提にしています。そのため、保護者の皆さんには、発熱時のお迎え、お休みのご協力、また、家族、勤務先などでコロナ感染者が出た場合、また、感染拡大地域へ出張した場合など、細かなところまで情報提供をいただいているので、お子さんの体調を把握しやすく、通常のあそびを行うことができます。加えて、「あそびは子どもたちにとって必要不可欠な物である」という考えが、できるだけ通常に近い保育を行う最も大きな要因です。子どもたちは、さまざまなあそびの中で、多くのことを学び、その学びを仲間とともに考えたり、工夫したり、試したりしながら、自分の力にしていきます。乳幼児期は人生を生きる全ての基本的な力を身につける時期です。「人生で一番成長が著しい子どもたちにとっての今は、今しかないのですから、その時期を何もせずにご過ごすことは、子どもたちに申し訳ない」と理事長が8月の保育でもお伝えしております。従って、あそびの延長線上にある行事も、できる限り形を変えながら開催し

子どもたちにとっては、日頃頑張っている姿を保護者に見ていただき、しっかり褒めてもらって自信をつける機会となり、保護者の方は、自分のお子さんがお友だちと協力している姿、転げて泣きながらも最後まで頑張る姿などを通して、成長を喜び、愛おしく思っていたいただける機会としていただければと思うのです。特に、運動会は、直前に近隣施設でクラスターが発生しましたので、戸惑いはありましたが、「事前に施設を利用された方は申し出て欲しい。」ことを伝え、少しでも体調の悪いときは、お休みするなどのご協力を頂いたので、開催することができました。子どもたちの満足そうな笑顔、保護者の方々の愛に満ちたまなざし、私たち職員全員、皆さんとともに笑顔の輪に溶け込み、「開催してよかった」と感じています。

今後も感染症対策に最大の注意を払いながら、子どもたちが興味を持ち集中して遊べる環境作りをし、子どもたちの成長している様子を保護者の皆様に見て頂ける行事も、いろいろ工夫しながら可能な限り、開催したいと考えております。

11月には、作品展を開催します。ホールは、子どもたちの作品でいっぱいになります。「すいこうのもり」というテーマで、年少さんから年長さんまでがそれぞれの思いで作ったバーベキューの森、忍者修行の森、魚釣りのできる森などのコーナーがあり、森全体には、子どもたちの創造力が溢れている虫たちが飛んでいます。いつものように給食室自慢の炊き込みご飯や唐揚げなどはありませんが、子どもたちの色々なアイデアが溢れている遊べる森の空間をお楽しみください。乳児さんの遊べるスペースもあります。

今後の大きな行事は、12月のおもちつき、1月の生活発表会、2月の卒園式です。いずれも開催を予定しておりますが、開催方法については、早めにお知らせいたします。コロナの感染状況によっては、決定事項が変更になるかもしれませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

園長

乳児さんだって、わくわくしてる！！

0.1.2歳児さんは、ぱんだ組さんのお部屋をあそびのスペースとします。小さな子どもたちが日頃遊んでいる様子を写真やドキュメンテーションで紹介したり、子どもたちお気に入りの手作りおもちゃを用意します。わくわくドキドキしながらも安心できるあそびのスペース。みなさんでお越しくださいね。

子どもの絵の中にある思い

作品展では、幼児さんの絵も展示します。たくさん絵が並ぶと、無意識のうちに「こっちは絵は、人をいっぱい描いていて上手だね。」とか、「線がはっきり描いてあるからよくわかるね。」などと大人の目線で評価してしまうことがあるのではないのでしょうか？

すいこうでは、出来上がった作品を評価するのではなく、描いているときの表情やつぶやきを受け止め、描きたいという気持ちを大切にしています。そういう気持ちで描いている子どもは、たとえば、はっきりとした形になっていなくても楽しそうに、生き生きと描き、「先生、あのね…」とその絵に込めた思いを一生懸命、話してくれます。そのお話が楽しくてたまりません。子どもの絵は、心の鏡です。楽しく描くことが大切です。保護者の皆さんにもお子さんの絵を見ながら、その絵に込められた思いをしっかりと聞いていただけることを願っています。

